

# ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第5号 平成26年4月13日

打線今期ワースト・・・

好投光希1発に沈む・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	0	0	1	0	0	3	0	4
G	0	0	2	0	0	0	0	2



4/13(日)今期の我がチームVictoriaが開幕した。対戦相手は初対戦となるSANDRY、場所は板橋の小豆沢野球場、前の使用枠が無かった事から、両チーム同時にグラウンドでアップ後、17:00プレイボールとなった。マウンドに上がったのは、前節6与四球と乱調だった光希、今日はどんなピッチングを見せるのか非常に楽しみである。その光希だが、前節とは大違いの内容。2回まで二奪三振を含む凡退の山を築く。そんな我がチームの初回の攻撃、先頭哲也が四球を選択し出塁、その後二盗を決め、二番光希がボールを叩き、哲也を三塁に進塁させ一死三塁と先制の場面を迎えた。ここで打席に祐太郎が入る。3球連続ボールが続き、与四球かと思った4球目はストライク、そして5球目を振り抜いた打球は三塁線へのゴロ、このゴロの間に哲也はホームを目指す。がホームホースアウトで先制のチャンスが惜しくも消えた。そんな中ゲームが動いたのは3回、先頭の飛球はライト浅沼へ、しかし、落下点に入ったものの捕球出来ず、エラーで走者を出す。次打者は投ゴロに取り一死としたが、この間に走者は二塁に進塁、後続を空三振に斬り二死としたが、次打者の時、二塁への牽制が大きく逸れ、外野後方までボールは転々、この間に二塁走者は一挙ホームインし、1点を先制された。が、ピンチの後にはチャンスが、の言葉のとおり、我がチームにもチャンスが訪れた。先頭は倒れ一死となったが、今日9番に入った智がこの日二個目の四球を選択し出塁、その後二盗を決める。先頭哲也に出されたサインはエンドランであったが、結果は進塁打で智は三塁に進塁、そして、二番光希の打球は、セカンド正面の打球、万事休すかと思つた瞬間、一塁への送球が逸れ、この間に智が生還し同点。次打者祐太郎の三ゴロがきわどいタイミングの内野安打、この間に光希は三塁への好走塁、そして、4番昌平の打球をショートが一塁への悪送球でこの間に光希が生還し2点目。3点目の走者となる祐太郎もあわや三塁まで回る勢いの走塁を見せる、が、残念ながら後続は右飛で倒れ、この回2点止まり。しかし、今日の光希の出来なら、このまま行けると頭に過つた6回に今日のゲームを決める動きが出た。先頭を遊ゴロに斬り、一死としたが、後続の早い三ゴロをトンネル、次打者が一死二塁間に合わずバッティングで一死一・二塁のピンチに。ここで打席に入ったのが、相手チームで唯一外野へ飛球を飛ばした打者が打席に入る。この打者へ投じた3球目はストレート、この球を綺麗に振り抜かれ、狭い球場の左中間の柵を越すスリーランを放たれた。しかし、後続には崩れも見せずびしゃりと抑えた。流れはこのまま最終回まで運び、共に3人で終わり、結果敗戦となった。今日の光希の内容は本当に素晴らしかった、が、自身のミスと1つの事故、そしてチームの貧打が敗戦という結果を迎えた。やはり、投手が好投しても点が取れなければ勝てないのが野球、もう少し考えなければいけない、と感じたゲームであった。